（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（北アルプス地域）

令和７年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	サイクルツーリズムによる観光エリアブラッシュアップ事業
事業主体 （連絡先）	一般社団法人　大町市観光協会 TEL　0261-22-0190
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大（ア 特色ある観光地づくり）
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	３，４２０，３２９円（うち支援金：２，７０３，０００円）

事 業 内 容

湖での体験に加えて地域の自然を体感でき、夏の繁忙期以外も楽しめるアクティビティの取組みとして、サイクルステーションやe-バイクレンタルの拠点整備を行うとともに、湖畔や近隣の白馬村を含めた広域観光やe-バイクで楽しむエリア内のサイクリング情報を広く発信してサイクルツーリズムを推進する。

１　青木湖エリアにおけるレンタサイクル拠点整備
２　サイクルロゲイニング（令和7年10月25日開催）
３　ＳＮＳなどでの情報発信
４　魅力あるサイクリングコース作り



【サイクルロゲイニング】

【目標・ねらい】

①レンタサイクルの拠点整備
②イベントによる知名度UP
③情報発信による周知・集客
④サイクルコースの新設

事 業 効 果

青木湖周辺～白馬方面の拠点としてao LAKESIDE CAFEと五竜観光協会にサイクルステーションを整備したことにより、エリアを超えた広域観光が可能となった。サイクルロゲイニングには、県内外から53名の参加者があり、サイクルコースとしての認知度が高まり、また、参加者からのSNS投稿により多くの方にエリヤの魅力が拡散された。、

2つの魅力的なサイクリングコースを新設し、HPでの動画配信やVRでの疑似体験、携帯との連携によるコース設計など、多くの観光客に対してより気軽に楽しめ参加できるコンテンツが制作できた。

※自己評価【　B　】

【理由】
サイクルコースを隣接する白馬村まで設定したことにより「北アルプス山麓エリア」を一つの観光エリアとしてプロモーションすることができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。（今後の事業展開、取組の継続に向けた財源確保など）。

サイクルツーリズムは、自転車で地域を巡ることにより、その土地ならではの自然や文化、食などを五感で体験する体験型観光である。次年度以降も多くの観光誘客を目指し、魅力的なモデルコースを提案するとともに、近隣市町村と連携してサイクルステーションを設置し、広域エリアで事業展開を行っていく。また、サイクルロゲイニングやサイクリングツアー、レンタサイクル等の収益性の高い事業に取り組んでいく。

今後もこの取り組みを継続して、サイクリングと観光を融合させた信州の新しいアクティビティブランドとして地域の魅力を探求する体験型観光に取組んで行く。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある